

HDM推進会（第 47回）／ごみゼロネット推進会（第 69回）議事録

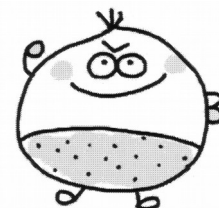
開催日： 2014 年(H26 年) 2 月 12 日(水) 10:00 ～ 11:50

場 所： コミュニティサロン・はけ

出席者： 加藤、大橋、杉本、川村、林、山本、桐生（作成）

議 題：

本日は加藤氏提供の資料①「2 月ごみ・生ごみの動き」2 頁と、②ごみ対策課より「3 月末を以て HDM 推進検討会を終了しないか」との提案と、③今後の当会の運動方針、について討議した。以下、代表的な議事・発言内容のみを記す。



1. 2/4 小金井市建設環境委員会

日野市の「ごみ処理広域化に反対する 4 団体の意見陳述」においては、議員側からは「共同処理の受け入れに感

謝している」「一層のごみ減量に努力する」との発言のみ。日野市民団体側からの「貴方がたはこの問題を小金井市民にどのように説明したのか」には答えず、暖簾に腕押し of 雰囲気であった。

2. ごみ行政面での動き

(1) 三市共同処理の一部協同組合の準備会が動き出した。

(2) 二枚橋に関する行政決定(焼却場に当てる)を取り下げる。いよいよ「二枚橋の土地を何に使うのか」を明白にせねばならなくなった。

3. 土曜生ごみ投入のごみ処理機で運転停止続発

● 1 月から 2 月にかけて、前原町等で攪拌機の軸受け破損等で受け入れ停止が続いている。推進者が困った立場にあるが、ごみ対策課からの支援が得られていない。

● 加藤氏が立ち会った結果では、2/8 の大雪の最中でも 13 名の方々が生ごみ投入に足を運んでこられた。

4. 大型生ごみ処理機補助制度に関して

● 1/17 の「HDM 推進検討会」でごみ対策課から「3 月議会に提案するまでは口外無用」との条件で提示された。

● 「補助金額は 50%」「維持管理費(電気代、保守点検・修理費、管理費)は補助対象としない」は市民に大きな経済的負担をかけるので、地域分散処理に水をさすことになるのではないかと。

● 「設置場所は申請者が決める」で、市が管理する場所は使わせないので、これも障害になる。

● 保育園が自費で設置していた処理機を更新するような場合にはメリットがあるが、新しく町内会が始めようとする場合には障害が多すぎる。

5. HDM推進検討会を 3 月末で終了したいとの市側の提案への対策

三市共同処理も決まり、当面のごみ処理問題は解消した。市長方針で生ごみの分別収集もやらない。これ以上市民側と市側が協議の場を持っても何の前進もないから。

(1) ごみ問題で市民と行政が唯一持っていた協議の場が消失するのは残念だが、受け入れざるを得ない。

(2) 国分寺市、立川市、小平市は既に分別収集を行っている。府中市、調布市、町田市は分別収集を市の方針として公表している。周囲の自治体が積極的なのに、それに背を向ける小金井市の後進性は何か。

(3) 市議会までが稲葉市長と同じ大政翼賛会的意見に終始する小金井市議員に、やりきれなさを感じる。

(4) 日野市の市民団体から「せめて小金井市は生ごみの分別収集で日野市民への負担を軽減してはどうか」と提案されることを期待した時点もあったが、彼らが「絶対反対」を通す以上、そのような期待は不可能。

(5) 大橋氏が管理する「ごみゼロネット」を復活させて、これまでの経緯の公開、我々の主張を広く世に問う途が今の我々に残された唯一の選択肢であるようだ。このサイトの活性化に努力を集中しよう。

次回打合せ 3月12日 (水) 10:00~12:00 コミュニティサロン・はけ
1/1